

## 【子育てしやすい茨城をつくるための子育て支援フォーラム 2023 事前アンケート 個別回答】

「こども・子育てに関する施策について、こどもの意見を聴き施策に反映させる仕組みはありますか」という設問について「既に設けている」と回答された方にお聞きします。それは具体的にどのような施策に対してどのような方法で行われていますか。

- ・計画策定の際等にアンケートを実施しています。
- ・次世代を担う子どもたちが、市役所の仕組みや仕事を知り、議会活動の一部を体験することで、市政をより身近に感じ関心を高めると同時に、子どもたちから見た市政に対する意見や要望・提言などを聞き、子どもたちが参加するまちづくりに資する。あわせて、子どもたちが毎日の生活を顧みること、家族や社会の一員であることに改めて気づき、地域とのつながりを大切にする心を育て、参加する子どもたちの健全な育成を目的とし、小美玉市子ども議会を実施している。
- ・公民館の事業において、こどもがボランティアとして参加し、地域のこどものためのプログラムを企画・実施している。中学校の生徒会が、体験ワークショップを企画・参画した。また、公民館運営企画委員会の委員として、中・高校生を採用し、意見を反映している。

「こども・子育てに関する施策について、こどもの意見を聴き施策に反映させる仕組みはありますか」という設問について「検討、準備中」と回答された方にお聞きします。その検討や準備を担当している部署はどちらですか。また参考にされている先行事例等がありますか。差し支えない範囲でお書きください。

- ・こども部こども政策課 令和6年度に策定を予定しているこども計画の基礎調査として、令和5年度中に、こどもにアンケート調査を実施する予定。
- ・国が作成する「多様なこども・若者の意見を聴く在り方及びこどもの意見反映に関する行政職員の理解・実践に向けたガイドライン」を参考にします。

「現在、こどもの居場所づくりに関して、市町村として実施していることはありますか」という設問について、「既に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。具体的にどんな居場所づくりに取り組んでいますか？

- ・(令和5年度)子どもの居場所支援臨時特例事業→(令和6年度)児童育成支援拠点事業
- ・放課後や長期休業時など、放課後児童クラブなどのこどもの居場所づくりに取り組んでいる。
- ・こども食堂。
- ・生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行い、学習習慣や生きる力、自己肯定感を育むための支援を実施。
- ・国の指針を踏まえて実施するものではないが、放課後の時間帯に社会体験できるイベント型の事業を市内各所で実施している。
- ・放課後児童クラブ、放課後子供教室、児童館、こども食堂、子ども会、スポーツ少年団等。
- ・子どもの貧困対策として、子ども食堂や学習支援事業の実施。

**妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施(国では、身近な面談・相談場所として民間の子育て支援施設の活用を推奨しています。)について、民間の支援施設や支援団体に委託、連携を進める等、すでに実施されている事例。**

- ・三回目の面談について茨城県助産師会に委託している。
- ・民間の地域子育て支援拠点と連携している。産後2か月～3か月頃、自宅近くの地域子育て支援拠点からグループ交流面談(名称:ハローベイビー)の招待状を郵送。地域子育て支援拠点の各施設で、施設の職員が面談。同じ時期に出産された保護者が交流し、子育ての悩みや気づき等、自由にお話をしながら交流を深め、仲間づくりをしていただく。各施設の職員が工夫を凝らし、足型や記念写真等をプレゼントしたり、赤ちゃんマッサージ等の講座をしたり、楽しい時間を過ごしていただく。子育て世代包括支援センターの職員も出向き、個別相談も受ける。今後とも施設を利用していただけるように、施設のPRも行う。

**子ども・子育て支援施策全般について、こども家庭庁の創設およびこども基本法の施行に関連して、従来の子ども・子育て支援事業その他の施策の変更や見直し、加速化など、今年度の具体的な動きがあればお書きください。**

- ・今年度は特になし。令和6年度に向け、こども家庭センターの設置や新規事業の準備・検討を行っている。
- ・第3期子ども・子育て支援事業計画策定に向けてのニーズ調査を実施。
- ・現時点での具体的取組はなし。次年度に向け調整検討中。
- ・庁内に「子ども家庭連携推進室」の新規設置。
- ・こども大綱の公表・詳細説明を待っている状態で、具体的にどのように動き始めればよいのか定まっていない。
- ・こども計画策定にあたり、こどもの意見を聴く方向。
- ・子育て世帯の経済的負担の軽減と相談・支援の充実を二つの柱とした、本市独自の子育て支援パッケージ「みとっこ未来パッケージ」を策定し、新たに小・中学校新入生応援金や市立中学校給食費の無償化を実施している。
- ・次期子ども・子育て支援事業計画策定に併せ、こども大綱の内容を勘案し、検討を予定している。
- ・組織を改編し、本年度当初に子どもに係る施策を集約した「子ども部」を設置。
- ・子育て短期支援事業(ショートステイ)について、里親さんの協力をいただき、今年度から里親さんへのショートステイ事業を開始した。
- ・ファミリーサポートセンターの入会金を無料とするとともに、利用料についての一部減免を実施する。
- ・家庭支援を市が中心となり担っていくことから、子育て世帯訪問支援事業を開始する。
- ・こども基本法に合わせたこども計画の策定を検討していたが、こども大綱の整備が遅れているとのことを受け、次期計画は子ども子育て支援事業計画を続行することとなった。
- ・第三期子育て支援事業計画の策定準備、アンケート検討。
- ・こども・若者へWEBアンケート調査を実施予定。
- ・人口増加地区の小学校の放課後児童クラブの専用施設の建設に向け準備中。
- ・保育の潜在的待機児童が増加しているため、民間保育施設の誘致を予定している。

- ・こども家庭センターの設置に向けて取り組んでいます。こども計画を踏まえた市町村計画の策定に向け取り組んでいます。
- ・令和7年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、こども基本法、子どもの貧困対策及びヤングケアラー対策を内包した計画策定とするためのアンケート調査を実施予定。